

地 理 B

I 学習の到達目標

1. 自然環境、資源・産業、都市・村落、生活文化等の事象を通して現代世界の特色を系統地理的に考察する。
2. 現代世界を地域(市町村規模、国家規模、州・大陸規模)のスケールをふまえながら地誌的に考察する。
3. 現代世界の諸課題(国家間、日本の近隣諸国、環境・エネルギー問題、人口・食料問題、居住・都市問題、民族・領土問題)の現状と背景を理解し、解決策を探る。
4. 地理という科目が世界をとらえるうえで重要であることを理解するとともに、世界の諸問題に対して考え自分の意見を言える力を身に付ける。

使用教科書・副教材等:新詳地理B(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)、2018地理統計要覧(二宮)、新編地理資料2018(とうほう)

月	学 習 内 容	評 価 の 観 点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
4	第Ⅰ部 様々な地図と地理的技能 I-1 地理情報と地図 I-2 地図の活用と地域調査	・ 地理情報に対する関心や、それを地図化することへの意欲が高まっている。 ・ 地球表面上の方位、位置関係に関心が高まっている。	・ 地図化した地理情報をもとに、地域比較や、その地域の特色を明確にすることができる。 ・ 世界諸地域の地球表面上の方位、位置、距離関係や時差及び世界地図の利用上の問題などについて考察している。	・ 地域に関する情報を適切に選択、処理し、地図化することができる。その基礎としての読図作業を的確に行うことができる。 ・ 様々な世界地図を利用し、方位、位置、距離関係、時差について視覚的にとらえている。	・ 地図の作り方や種類、利用方法についての知識を身に付けている。 ・ 地球表面上の方位、位置関係における知識を身に付けている。
5	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 II-1 自然環境 II-1-1 世界の地形	・ 地形とそこに住む人々の生活、文化が密接に結びついていることに対する興味・関心が高まっている。	・ 地形などの自然環境が人々の生活様式や集落の立地、人間の諸活動にどのような影響を与えているか考察している。	・ 写真や資料、文献から世界の諸地域で生活する人々の生活様式などについて調査している。	・ 地形などの自然環境の地域的特色と人間生活との関連について理解し、知識が身に付いている。
6	II-1-2 世界の気候 【前期中間考査】	・ 気候とそこに住む人々の生活、文化が密接に結びついていることに対する興味・関心が高まっている。 ・ 農業など産業活動の地域的差異がなぜ生じるのかということに対する関心が高まっている。	・ 気候などの自然環境が人々の生活様式や集落の立地、人間の諸活動にどのような影響を与えているか考察している。 ・ 農業などの産業活動の地域的特色を立地と形成の諸条件と関連づけて考察している。 ・ 農業などの産業活動の地域的特色を国際化、情報化の進展の中で理解し、それらの社会変化が諸地域の産業に及ぼす影響について考察している。	・ 気候の特色について、気温図、ハイサーグラフなどの数値的資料から気候を読み取っている。 ・ 農業など産業活動の地域的特色について、地図や統計その他の資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用している。	・ 気候などの自然環境の地域的特色と人間生活との関連について理解し、知識が身に付いている。 ・ 農業など産業活動の地域的特色を理解し、知識が身に付いている。
7	II-1-3 日本の自然の特徴と人々の生活 II-1-4 環境問題				
8	II-2 資源と産業 II-2-1 世界の農林水産業				
9	II-2-2 食料問題 【前期期末考査】				
10	II-2-3 世界のエネルギー・鉱産資源 II-2-4 資源・エネルギー問題	・ 鉱工業など産業活動の地域的差異がなぜ生じるのかということに対する関心が高まっている。	・ 鉱工業などの産業活動の地域的特色を立地と形成の諸条件と関連づけて考察している。 ・ 鉱工業などの産業活動の地域的特色を国際化、情報化の進展の中で理解し、それらの社会変化が諸地域の産業に及ぼす影響について考察している。	・ 鉱工業など産業活動の地域的特色について、地図や統計その他の資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用している。	・ 鉱工業など産業活動の地域的特色を理解し、知識が身に付いている。
11	II-2-5 世界の工業 II-2-6 第3次産業				
	II-2-7 世界を結ぶ交通・通信	・ 世界の地域的差異と地域的共通性について関心が高まっている。	・ 現代世界の結びつきの現状から、今後の動向について考察している。	・ 世界地図から世界の地域を空間的に把握し、背景を調べている。	・ 現代世界における結びつきから、地域構成について理解し、知識を身に付けている。

12	<p>Ⅱ-2-8 現代世界の貿易と 経済圏</p> <p>【後期中間考査】</p>	<p>まつしている。</p>	<p>有茶している。</p>	<p>している。</p>	<p>し知識を身に付けている。</p>
1	<p>Ⅱ-3 人口、村落・都市</p> <p>Ⅱ-3-1 世界の人口</p> <p>Ⅱ-3-2 人口問題</p>	<p>・人口問題を自分たちの生活、将来にも関わる身近な問題としてとらえ、関心が高まっている。</p>	<p>・世界の人口の分布や動態を地 球的視野から理解し、人口問題 の地域的な差異が経済の発達と 大きく関わっていることを理解 することで、その解決方法を考察している。</p>	<p>・日本における人口問題を地域の統計や資料を調査し、表にまとめ、分析を行っている。</p>	<p>・人口問題の深刻な地域を把握している。 ・人口の変動によって生起する 課題について理解している。</p>
2	<p>Ⅱ-3-3 村落と都市</p> <p>【後期期末考査】</p>	<p>・村落と都市について、村落・都市の立地や発達・機能、日本の都市の特徴に関する考察を基に、村落や都市に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p>	<p>・村落と都市について、集落はどのように発生し、どのように都市として発達したか、都市はどのような機能を持ち、構造はどうなっているか、日本の都市の特徴は何かを、系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>・都市の人口や分布、都市の地域構造に関する統計や地図などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これを基に、村落と都市について読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>・村落と都市の立地、発達、機能や日本の都市の特徴について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
3	<p>Ⅱ-3-4 都市・居住問題</p>	<p>・都市・居住問題について、発展途上国、先進国、日本に関する考察を基に、都市・居住問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p>	<p>・都市・居住問題について、世界の都市・居住問題の要因と発生のおよび都市・居住問題の解決には何が必要かを、系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>・発展途上国、先進国、日本の都市・居住問題に関する統計や事例などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これを基に、都市・居住問題について読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>・発展途上国、先進国、日本の都市・居住問題の特徴や、解決への道筋について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。</p>

評価方法:前・後期共通

・考査および提出物や実力テストによる総合評価。

・評価は、社会的事象への「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「資料活用の技能・表現」、「知識・理解」の4つを単元ごとに行う。「関心・意欲・態度」は、授業の様子や発問に対する返答等から、「思考・判断・表現」は、各テストや授業の様子、資料の読み取りから、「資料・活用の技能・表現」および「知識・理解」は各テストや授業の様子から総合的に評価する。